

《平成26年9月議会質問および回答要旨》

1. 全国学力・学習状況調査について

《回答：教育長》

今年度の学力・学習状況調査の結果、学力については、小学校では改善が見られたものの、小中学校とも、算数、数学で、基礎的、基本的な知識の習得に問題があること、授業の冒頭で目標を示す活動や授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている学校の割合、総合的な学習を行っている学校の割合が低いことである。

この結果を受けて、市町村教育委員会と共同で、学力定着につながる授業改善をすすめるなどの取り組みを進めていく。

2. 肝疾患手帳認定緩和について

《回答：健康福祉部長》

肝機能障がいによる身体障がい者手帳の認定基準は、腹水の程度、意識障害の程度、黄疸の程度、低タンパク血症の程度、出血のとまりにくさの程度という5項目で評価することになっており、肝機能が相当重篤な状態が3ヶ月以上続くことが要件となっている。

そのため、認定基準の見直しについて、本年6月から、厚労省の研究班による実態調査がスタートし、その基準を見直すとの新聞報道があったが、厚労省に問合せを行ったところ、認定基準の見直しを検討するという方針以外、現在は今のところ、今後の具体的なことはまだ決まっていない状況のようである。

3. レセプトを活用した医療費抑制策について

《回答：知事》

来年度の医療保険制度の改正に向けて、色んな検討が進む中で、取りあえずは大量のレセプトのデータをどのように分析し、どういう対策をとればいいのかといった検討をし、医療費目標を策定する標準的な方法、算式を今作ろうという段階であり、今後時間をかけて目標をつくることになる。

また、目標を作るからには、対策が必要であり、対策なしでは現実的なものにならないため、総合的な検討しながら行っていくべき課題と考えている。

4. 石見の観光誘客事業について

《回答：商工労働部長》

石見の観光誘客事業については、市町、県などで組織する石見観光振興協議会を推進母体として、主に石見神楽の振興、情報発信、地域の魅力づくりを3本柱として取り組んでいる。

また、8月から、山口石見キャンペーンとして、キャラバン隊などによるPRや、旅行商品造成などを共同で実施し誘客を進めている。さらに来年には、萩市を舞台にした大河ドラマに「花燃ゆ」の放送が予定されているため、県としても地元や萩市などと、両県連携を一層進め、石見の観光誘客につながるよう取り組んでいく。